

『真光寺川 里親の会』通信

1月号 一通算第106号

2010年1月10日

10年の歩み、そしてこれから・・・

明

けましておめでとうございます！新しい年が巡ってくることは嬉しいことです。

元旦、夜明けを下堰親水で迎えました。東の空が染まり雲間からいきなり真っ赤な太陽が昇ってきました。鯉の群れも鴨の一家も新しい年を祝福しているようでした。

「清流にする会」がスタートしたのは、00年1月のことで10年になります。これ迄続けてこれたのも、熱心な会員の活動、多くの方々の応援があつてのことです。心から感謝いたします。思いつくままに、10年の歩みをふり返ってみることにします。

焼鳥屋でのスタート 99年夏、エコネット町田の仲間と上流から下流まで、歩いてみました。自転車や粗大ごみ、ビニール袋の散乱する汚い川でした。「きれいにして子供達の遊べる川にしたい」という思いが強くなってきました。00年1月、駅前の焼鳥屋大将に仲間8名が集まり「清流にする会」を旗揚げしました。



焼鳥屋大将で「清流にする会」スタート

ひたすら清掃作業 毎月第2日曜日を清掃作業日と決めました。1、2月は水が冷たいのでお休みにしましたので、10年で延100回になります。ごみの種類は様々です。忘れられないのは神明橋の下流で拾った3個の鞆のことです。中にあった財布はキャッシュが抜かれ大量のカードが残されていました。交番に届けたところ、後日、田園都市線の沿線で「ひったくり」に遭ったものだったと連絡がありました。



毎月第2日曜の清掃作業（2008.9）

深まる子供達との交流 嬉しかったことは多くの学校が、体験学習にきてくれるようになったことです。和光鶴小、鶴二小、鶴三小、鶴四小、真光寺中、麻生総合高校等です。子供達と共に歩んだ歳月とも言えます。鶴三小で3年間実施した全校あげでの「真光寺川ウォーク」、和光鶴小の「真光寺川研究」等数々の思い出があります。

106号になる里親通信 01年、朝日新聞系のエコ雑誌「くらしの風」で私共の活動が取り上げられました。取材に当たった辰濃和男さん（朝日新聞編集委員で長年天声人語を執筆された）の記事に触発されて里親の会がスタートしました。当時、事務局長だった高橋さんが里親通信を創刊されました。07年2月亡くなる迄一人で編集・印刷・配布に当たって下さいました。遺志を継いで黒田さんを中心に発行を続けています。



昨年の「真光寺川まつり」に集まった人々

「真光寺川まつり」の開催 02年、「まつり」をスタートしました。子供達にもっと川に親しみ楽しんでもらいたいためです。当初は、網、投網、タライ、水槽等何もなく、和光鶴小の大川先生に大変お世話になりました。年々参加者が増え夏のイベントとして定着してきました。今年は第9回になります。

その他諸々 様々のことが次から次に思い出されて来てきりありません。なぜか楽しい思い出ばかりです。

こ

れまでの10年、そしてこれから・・・。原点にかえて、新しい気持でスタートしたいものです。引き続きよろしく願いいたします。

平成22年元旦

真光寺川を清流にする会・真光寺川里親の会・会長 山口拓郎

和光鶴川小学校の水生生物調査について

真光寺川では、以下の通り平成 17 年、18 年連続で「全国水生生物調査」が実施され、調査結果が環境省水・大気・環境局に登録されてきました。

実施年月日	調査場所	調査団体	調査結果(水質階級)
平成 17 年 11 月 25 日	下堰下流の平瀬	和光鶴川小学校 4 年生	Ⅱ(少し汚い水)
平成 18 年 09 月 14 日	同上	真光寺川を清流にする会	Ⅲ(汚い水)

今 年度は、一昨年同様、和光鶴川小 4 年生が総合学習の一環として調査する予定でしたが 9 月末までの規定期間内には実施できませんでした。その後、同校から当会に是非調査体験をしてみたい、協力して欲しいという要望があったので、山口会長、山岡が対応し、12 月 2 日 15 時すぎから下堰下流において、模擬調査として実施しました。

15 時 20 分大野先生の引率する 4 年生の男女 12 名が親水広場に参集、水生生物調査についての説明を受け、水温・流速の測定を行った後、6 名の体験グループにより(真光寺川の今昔調査班 6 名は別行動)採集・調査作業を行ないました。日没まで時間が無かったので、水中から採取する石を 1 名 1 個に限定するなど簡略な調査とはなりましたが、初めて見る水生生物がビックリするほど多量に採集でき、子供達は大満足の様子でした。



生物調査の説明を聞く和光鶴小 4 年生

同定した指標生物と、これにもとづく水質階級の判定は以下の通りです。

採集した指標生物(数量順)	コガタシマトビケラ、ヒル、*オオシマトビケラ、ミズムシ、チョウバエ
水質階級	Ⅲ(汚い水)

この調査結果は、正式なものではなく、また*下線については、その後の調査で関東地方の分布が少ないことが判明、よく似たウルマーシマトビケラ(非指標生物)である可能性が高い。(山岡 鐵也記)

『めだかポスト』

郵便振替で鶴川 4 丁目の芦田徳明様から、その他「めだかポスト」への寄付のほか一木会からの寄付を合算して 12 月は合計 4,208 円でした。里親の会の活動に対する皆様のご厚志に感謝いたします。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「**印字済払込取扱票**」をポスト脇のファイルに入れてあります。「**赤インク印字の払込取扱票**」をご利用頂ければ、**手数料無料**でお振込みが出来ます。またなるべく**ATMでの振込み**をご利用ください。どうかよろしく願いいたします。

郵便振替 『00150-4-574114』
加入者名 『真光寺川里親の会』

私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

2月14日(日) 旧真光寺川～鶴見川寺家～市が尾まで散策します

2月の例会は、旧真光寺川と鶴見川に沿って市が尾まで散策したいと思います。

集合：2月14日(日) 10時00分 下堰親水集合。

昔の真光寺川の跡の一部は今でもたどれます。今回は旧真光寺川の跡と鶴見川の川沿いの道を市が尾辺りまで散策します。市が尾のレストランで昼食をとって解散したいと思います。清流の会会員・里親の会の皆様そして一般の方々のご参加を歓迎いたします。ご一緒に散策しませんか

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』 会長：山口 拓郎 町田市鶴川 1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴 3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp